

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

三里塚と80年代の激動をきりひろく 戦闘的労働運動の再生へ!

7.28国民大集会、圧倒的成功をかちとる!

「80年代をきりひろく勤労千葉とともに」7.28国民大集会は、千葉市民会館において勤労千葉組合員・家族二七〇名、三里塚反対同盟五〇名を先頭に、全国全県下からの闘う住民・労働者など二六〇〇名の大結集の中で圧倒的成功をかちとり、80年代労働運動の戦闘的再生の突破口が切り拓かれた。

当日集会会場である千葉市民会館には集会開始二時間前の午後四時頃から続々と参加者が結集し、六時には会場に入りきれないほどとなった。一部参加者を壇上にあげ、通路はギッシリでホール外にあふれる状況となり、会場の冷房も熱気にかきけされるありさまであった。全参加者の熱い視線のもと18時15分集会は閉会された。

各界から熱烈な連帯 決意表明

全体の拍手の中、司会者である北原敏治(反対同盟)、加田永吉(全関西実行委)両氏の開会宣言が行われ、勤労ジェット闘争支援共闘会議世話人・浅田光輝氏(立正大教授)が挨拶にたち、この間の経過と本集会の意義が提起された。続いて、全国住民闘争の最先頭で闘いぬいている各代表よりの挨拶が行われ、全関西実行委員会・永井満氏、日本原・鷲田正平氏、北富士忍草母の会・渡辺喜美江さん、沖縄民権の会・古波津英典氏、女川原発設置反対三町期成同盟・阿部宗悦氏など多くの代表より「勤労千葉と連帯し、共に闘いぬく」決意が力強くのべられていった。

このころになって会場は続々とつめかける人々によって立錫の余地なく、通路壇上に再三再四ギュウ／＼詰にして、集会は最高潮をむかえた。多くのメッセージの紹介のあと、二期工事決戦開始を前に増々高揚けんこうの三里塚芝山連合空港反対同盟の各隊を代表して、北原事務局長、敷地内の石毛常吉さん、婦人行動隊長・長谷川たけさん、小川おつさんよりの闘いの決意、よびかけがあつた。会場はわれんばかりの拍手と歓声であふれ、「九二六二期工事阻止全国総決起集会」への総決起をちか

反合・三里塚・ジェット闘争に決起する! 勤労千葉決意表明

集会も佳境に入り、勤労千葉からの発言に入っていた。関川委員長からのあいさつ、中野書記長からの経過報告と今後の基本方針が提起され、

「救国の七ヶ月闘争」にわれわれ一〇〇は勝利した。勤労大改革の展望は大きくひろがれている。既成の労働運動の破産をのりこえ、80年代を勝ちぬくことのできる自前の労働運動を構築してゆく。その基本軸は国鉄35万人体制に示される大合理化攻撃に反対してゆく体制の構築であり、われわれは反合・三里塚・ジェット闘争の位置づけを鮮明にし、この7.28集会を起点に決起してゆく。国鉄当局の最も忠実な親衛隊としてこの35万人体制の先女になり下った本部。革マル反動集団をうちくだき、正義の路線のもとに勤労大改革の勝利を必ず実現する。この決意が参加者全体の万雷の拍手で確認されていった。

つづいて、七ヶ月の闘争を連日支え今日の勝利を切りひらいた全支部の代表が登壇するや会場は興奮の渦につつまれ、一人一人の紹介ののち、代表してジェット最前線拠点の誇りも高く、日暮成田支部長が断乎たる決意表明を行なった。中江昌夫勤労前副委員長が特別報告「立ち、会場割れんばかりの拍手の中で共に闘いぬく決意かのべられた。

最後に支援の労組を代表して、全金本山支部、出版労働者連帯会議、全通空老支部などからの決意表明が行われ、団結ガンパロー、インター合唱を行い参加者全体の拍手がなりやまぬ中で終了していった。80年代にむけて力強い一歩が踏み出されたのである。確信たかく前進しよう!

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!